

# 1

新潟県長岡市

## 長岡市立東中学校

- クラス数 / 12 クラス
- 生徒数 / 419 名
- 建築主 / 長岡市
- 所在地 / 長岡市水道町 5-1-1
- 敷地面積 / 34,030.00㎡
- 建築面積 / 6,708.80㎡
- 延床面積 / 10,959.00㎡ (体育館 2,224㎡)
- 構造・規模 / RC 造、一部 S 造、地上 3 階建
- 施工期間 / 2007 年 7 月～2008 年 11 月
- ※クラス・生徒の数値は平成 22 年 3 月末現在

屋内体育施設と避難所機能を  
充実・融合。主体的な学習を  
支える環境づくり。

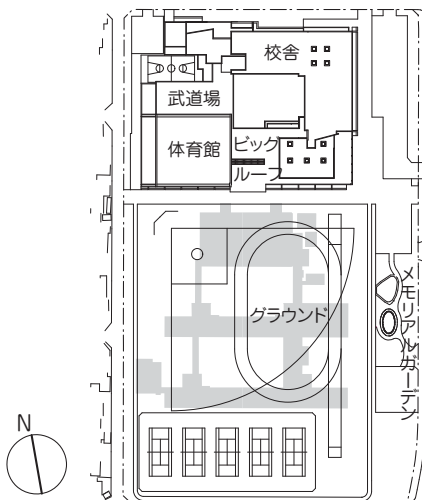
体育館と武道場を隣接。冬期でも動き回れる運動環境と災害時には避難所として使える施設を融合、教科教室や教科の広場と図書室・パソコン室の連携で多様な学習活動に対応。



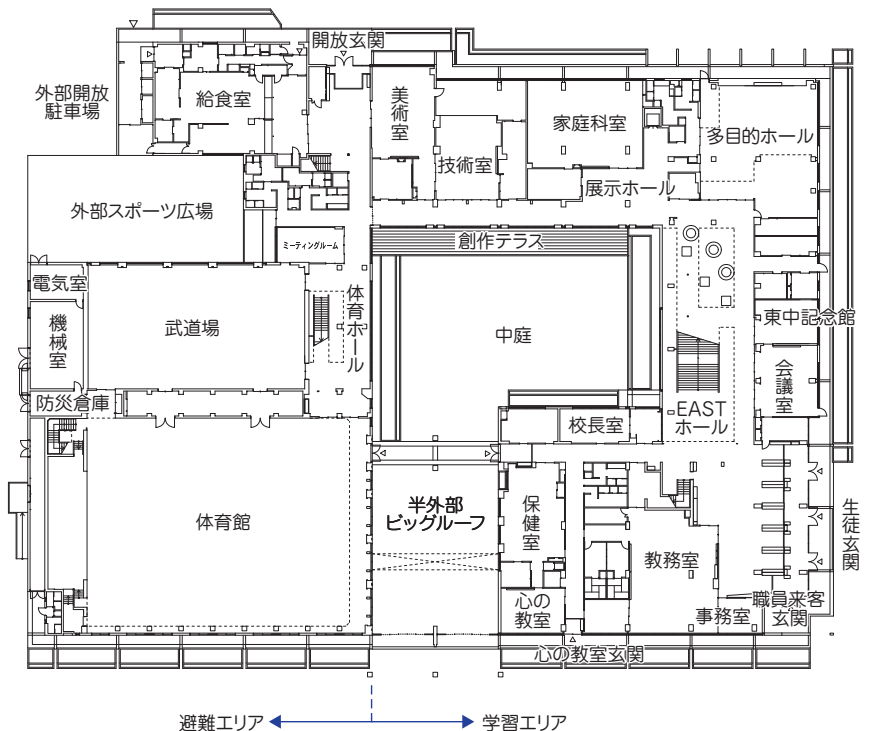
地域に開かれた場としての開放的な立面構成

### 計画に見られる 指針改訂のポイント

1. 屋内運動施設での快適な環境づくり
2. 多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供
3. 理数教育環境の充実



■配置図



■1階平面図

## 屋内運動施設での快適な環境づくり ↳避難所の視点から屋内運動施設を整備



1 雪や雨の日でも運動可能なビッグルーフ



2 体育館の2階にある周回ランニングコース

## 多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供 ↳充実した武道場の整備



3 サブアリーナとしても利用される武道場

### 校長の視点から

#### 中越地震の教訓を活かした 屋内体育施設の整備

体育館を計画するにあたって考えられたのが防災施設機能の充実でした。中越地震で避難所としての利用経験があったのでその教訓を活かし、体育館と武道場を近くに配置し、給食室も設置しました。避難所として使う場合、大きな空間が2つあることは、状況に応じて利用形態が変えられるので大変助かります。緊急時の出入りや救援物資の仕分けスペースとなる大

屋根のかかった半外部空間(ビッグルーフ)は、常時は全天候型の屋内運動施設として、雨天時や積雪時にも毎日走り回ったり、様々な運動に使ったりできるので、運動能力の向上に役立ちます。(写真1、3)

#### 体力向上に有効な ランニングコースの整備

体育館の2階には一周約140mのランニングコースが整備され、陸上、野球、テニスなどの屋外部活動に有効に活用されています。

床は、クッション性に優れた素材が用いら

れており、膝への負担も少なく、安全面にも配慮され、体力向上に有効に活用されています。(写真2)

#### 柔道等を日常的に行える環境

柔道場の畳は常設され、生徒はわざわざ畳を運ぶことがなく、緩んで指を抜く心配もありません。準備運動も素早く行え、柔道本来の練習に一生懸命取り組みます。剣道場は、剣道を行わない時には、サブアリーナとして卓球など他のスポーツにも利用することができ、生徒も喜んでます。(写真3)



多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供  
↳ 図書館と教科の広場を中心に充実した学習環境



4 吹き抜けのある開放的な図書館



5 教科の広場に設置されたノートパソコン



6 英語の広場では、図書室とも連携して教科関連の様々な資料を用意



7 クラスへの帰属感を生み学校生活の拠点となるホームベース

教職員の視点から

教科センター方式により  
学習意欲を向上

教科センター方式のため、生徒は次の教科教室に移動して授業を受けます。各教科教室の机は自分専用でないため、公共心が身につけてきました。国語、社会、数学、英語が教科の教室をもち、各教科に隣接してメディアスペース（教科の広場）があります。また学級のまとまりを大切にするため、ホームベースが設けられています。

ホームベースでは、クラスの生徒が一緒になって活動を行い、学校のこと、学習内容や部活動、趣味や遊びなど、多彩な話題が語られています。教科センター方式になって、「学習意欲が増した」「教科教室は集中できる」という生徒の声や、一番好きな場所は「ホームベース」という意見が聞かれるなど喜ばしい結果になりました。（写真5～7）

手近に情報検索でき、  
理科実験の行いやすい環境

各教科の広場には2台ずつ（5教科で

10台）のノートパソコンを用意し、パソコン室と併用しています。生徒も教職員も学習に関する情報検索が手軽に行えます。理科の授業の充実のために、理科講義室の他に2つの理科実験室を設け、その近くに実験を行いやすくするために理科準備室を整えています。理科の広場は、休憩時間に教材や教具に触れられるようにし、また、実験成果の展示を行うなど生徒の関心や興味を集めるようにしています。（写真8～12）

## 理数教育環境の充実

## 「観察・実験が十分な準備のもとに行える理科教室



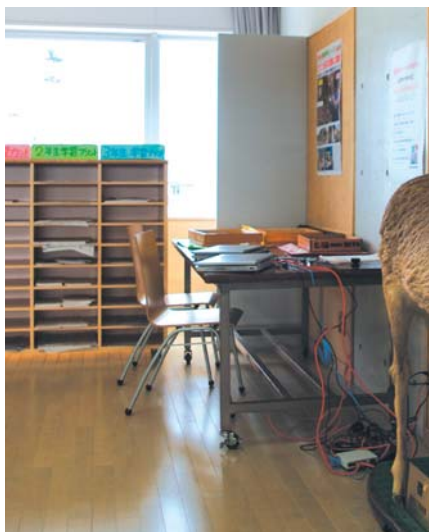
8 理科の広場、教師・教材コーナー



9 理科実験室



10 理科準備室



11 理科の広場にパソコンや理科教材を用意



12 理科の広場と開放的な理科教室

## 〈設計者の視点から〉

- ◎新潟県中越地震の教訓を活かし、地域住民の避難所としての機能を強化することを目指しました。避難所の核としての体育館、武道場、給食室、ランニングコース、半屋外のビッグルーフなどをまとめ、グラウンドに面して配置しています。(写真1～3)
- ◎半外部のビッグルーフ、周回ランニングコースは冬でも活動できる雪国の大切な運動スペースとなり、それらを含む体育施設などの避難所エリアと学校開放エリアを重ね合わせ、生徒

たちの日常生活や学習活動と避難所や地域利用を両立させています。(写真1、2)

- ◎教科教室、教科の広場、教師コーナーを教科センターとしてクラスター状にまとめました。また、メディアセンターと移動の核となる大階段を建物の中心に配置しています。この吹き抜け空間を拠り所として、生徒たちはホームベースから各教科センターへ移動し、活発な学校生活を展開します。(写真4～12)

(設計/惟建築計画+長建設計事務所)

## ● 検討委員会委員の視点から

## 屋内運動施設での快適な環境づくりの観点から

冬場の雪など天候を気にすることなく運動できる屋内ランニングコースや半屋外運動スペース(ビッグルーフ)を設けるなど、運動環境を充実させた計画となっている。

武道場は畳空間と板の間の空間が別々に確保されており、柔道や剣道などの武道が安全に、また、円滑に実施できる施設環境となっている。